

建設キャリアアップシステム (CCUS) 都市トンネル技能者の能力評価を開始しました

新谷 康之

(公社)日本推進技術協会
常務理事

(公社)日本推進技術協会では、これまで推進工事技士資格業務を中心に、都市トンネル工事分野における技術力の向上等に取り組んできました。そのようななかで近年、人口減少等を背景に、建設産業においても技能者の高齢化や担い手不足が深刻化する一方で、インフラ整備の高度化・複雑化が進展しており、技能者一人ひとりの能力を適切に評価し、処遇改善につなげていく仕組みの構築が強く求められています。

このような背景を踏まえ、当協会では、都市トンネル工事（推進工およびシールド工）に従事する技能者を対象とした新たな取り組みとして、「建設キャリアアップシステム (CCUS) 都市トンネル技能者能力評価」および「登録都市トンネル基幹技能者講習・講習試験等」の実施に向けた準備を進め、本年1月13日より建設キャリアアップシステムの能力評価の申請受付を開始いたしました。

1 建設キャリアアップシステム 技能者能力評価とは

建設キャリアアップシステム (CCUS) 能力評価とは、建設技能者一人ひとりの経験・資格・技能レベルを客観的に評価し、「見える化」する仕組みで、国土交通省が提案し、昨年度末時点で47職種61団体が登録されています。

CCUSでは、技能者の就業履歴や保有資格、講習受講歴などの情報を蓄積し、それらを基に国が定めた評価基準に沿って能力をレベル1からレベル4までに区分します。レベルが上がるほど、豊富な実務経験や高度な専門知識、現場を牽引する能力を有していることを示します（図-1）。

この能力評価により、技能者本人は自らの技能やキャリアを客観的に把握でき、処遇改善やキャリア形成につ

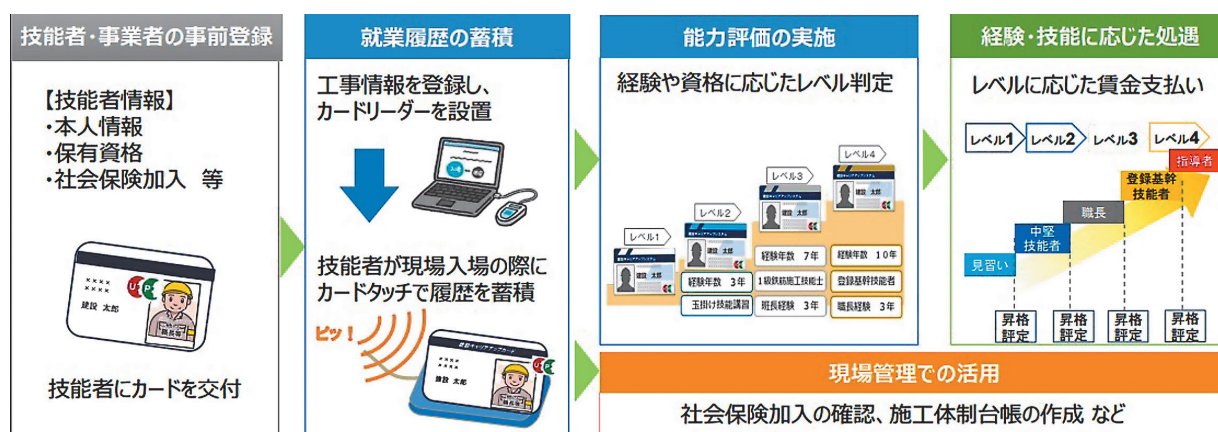


図-1 建設キャリアアップシステムの概要（出典：国土交通省ウェブサイトより）

なげることが可能となります。また、企業や発注者にとっても、技能者の能力を適切に評価・活用できるため、施工品質の向上や現場の生産性向上が期待されます。このようにCCUS能力評価は、建設産業全体の人材育成と持続的な発展を支える重要な制度となっています。

2 評価開始までの経緯

令和6年8月に国土交通省より当協会の「登録都市トンネル基幹技能者講習」が登録基幹技能者講習として登録され、令和7年8月に「都市トンネル技能者能力評価基準」が建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準として適合認定を受けました。

さらに令和7年12月に内閣府より「登録都市トンネル基幹技能者講習・講習試験および更新講習・更新講習能力確認試験」ならびに「都市トンネル技能者能力

評価」が、公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律に基づく公益目的事業として、公益認定の基準に適合する旨の認定を受けました。

これらの認定を受け、本年1月13日より、建設キャリアアップシステム（CCUS）都市トンネル技能者能力評価の申請受付を開始しました。

3 技能者能力評価の申請方法について

当協会では、技能者能力評価の申請に基づき順次審査を行い、技能者の経験や知識等を総合的に評価し、CCUS上のレベル判定を実施します。その申請方法については、当協会ウェブサイトにて公表しています（図ー2）ので、詳細はそちらをご覧ください。なお、申請には登録手数料を要しますが、今年3月末までの申請については無料となっています。

大分類	小分類
19トンネル特殊工	02シールド工（特殊作業員） 03推進工（特殊作業員）
20トンネル作業員	02シールド工（普通作業員） 03推進工（普通作業員）

図ー2 建設キャリアアップシステム技能者能力評価ウェブサイト
（（公社）日本推進技術協会ウェブサイトのうち、上部の矢印の箇所をクリックするとアクセスできます）